

「うだつが上がる、上がらない...」の「うだつ」が残る町

「うだつが上がる、上がらない」の「うだつ」ってご存じですか。屋根の隣家との境界に張り出した袖壁のことで防火壁の役割があります。時代の流れとともに装飾が施されたりして繁栄の証を示すようになり、儲からないと上げられなくなったため、出世しない様子を「うだつが上がらない」と言うようになったそうです。

現在でも「うだつ」の町並みが残る所がいくつかあります。四国中央部徳島県の吉野川沿いの3地区と岐阜県的美濃市を紹介します。

徳島県脇町(現美馬市)

「うだつ」の町として全国的に有名です。東西約400m以上にわたって、うだつのある昔の街並みが残っています。



脇町のうだつは小屋根の巾が広くて方形で、鬼瓦などの装飾があるのが特徴です。

国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、観光地として賑わっています。

徳島県池田町



刻みタバコの集散地であったため、タバコ業者が軒を連ねていた名残として、うだつの街並みが残っています。方形の小屋根は脇町と同じですが、鬼瓦ではなく屋号の入った瓦で飾られています。町家を利用したタバコ資料館がありますが、ほとんど観光地化しておらず寂れた雰囲気通りです。

徳島県貞光町（現つるぎ町）



全国的にも珍しい二層のうだつを載せた街並みが残っています。袖壁の前面には鏝(こて)で描かれた福寿を願う風景や動植物の絵模様があり、装飾や家紋がついた切妻型の小屋根が載っています。とても豪壮なうだつです。地域の商店が散在し、車の交通量も多く、あまり観光地化していません。



岐阜県美濃市



ここも有名です。屋根の両端を1段高くしたうだつの街並みが面的に広がっており、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されています。屋根から突き出ているため、徳島のうだつよりもすごさを感じます。有名な美濃和紙の土産物店やイベントがあり、近年、観光客で賑わってきています。

他に長野県南木曾町妻籠宿(つまごじゅく)、長野県東御市海野宿(うんのじゅく)も有名です。皆さんもどれか訪れてみてはいかがでしょうか。

【番外】京街道（守口市）

大阪近郊では、守口市の京街道にうだつが残るまちがあります。



天下を統一した徳川家康は、文禄堤を整えて「京街道」をつくりました。京都と大坂を結び大きな宿場町もあったため、東海道の中でもひときにぎわった街道です。

宿場町というのは、宿屋が置かれ、運送の仕組みが整えられた町のことです。京街道には「伏見宿」「淀宿」「枚方宿」「守口宿」がありました。

(国土交通省浪花国道事務所HPより)

宿場町の面影を残した、その街並みは江戸時代にタイムスリップしたようです。京街道については、「今・人19号」をご参照ください。

